

クロスロード

NPO 法人コミュニティ日高 人と地域を元気にするコミュニケーション広報誌

町に住んでる素敵な人

VOL.

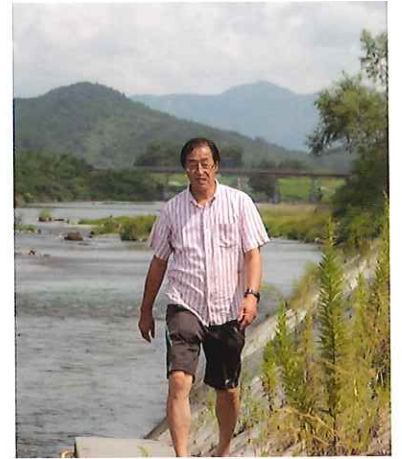
44

2022年10月



町に住んでる 素適な人

カヤックライフ
にあきお
新田 章夫 さん



1953年 日高町府中新 生まれ
1971年 就職、日高町を離れる
2013年 定年退職
2014年 帰郷

同級生による歓迎会
2016年 山陰海岸を歩き始める
2018年 山陰海岸ジオパークガイド認定
2019年 但馬検定1級認定
2019年 竹野町で初めてカヤックに乗る
2021年 日本セーフティーカヌーイング協会
インストラクター認定
2022年 1級船舶免許取得
2022年 カヤックによる山陰海岸ジオパーク
全海岸線完漕
2022年 日本ウォーターアクティビティ協会
カヌーインストラクター認定

Q.「カヤック」ってなーに？

A.「カヤック」は「カヌー」の一種。
パドルの両端にブレード（水かき）
がついています。

西方で漕ぐ



海や川を滑るように走るカヤック。

府中新にお住まいの新田章夫さんは、今年七月に、カヤックによる山陰海岸ジオパーク全海岸線完漕という目標を達成した。

定年後に帰郷して以来、山陰海岸ジオパークガイド認定のほか、二つのカヌー協会からインストラクター認定を受けるなど、地元の家と関わる活動をされている。

知らないことの多さに驚いた

長年勤めた会社を定年退職し、単身赴任していた姫路市から帰ってきたのが二〇一四年。生家で暮らすのはおよそ四十年ぶりだった。

こちらでの暮らしが落ち着いた頃、小学校時代からの幼馴染しみの同級生たちが、帰郷を祝う歓迎会を開いてくれた。

懐かしい面々と、昔話で楽しく盛り上がる一方、新田さんは地元のことについて知らないことの多さに驚いていた。

「八反の滝や阿瀬渓谷も知らなかったんです。同級生たちから、お前そんなこと知らんのかと言われました。」

その日のことがきっかけとなり、地元について関心を持つようになった。

二〇一五年頃から、朝来市「但馬楽農講座」、養父市「おおよや有機農業の学校」、但馬ふるさとづくり協会「但馬検定」に参加。また当時、運動不足を自覚していたこともあり「山陰海岸ジオパーク120kmウォーク」には、三年続けて参加した。

これは山陰海岸ジオパークのエリア内を歩き、地域の魅力を再発見するというイベントだった。

「各地の地理的なことがわかるだけでなく、その土地の文化、人物についても知ることができました。私にとっては一石三鳥くらいの価値がありました。」

このイベントには八十歳近い方も毎年参加しておられ、その元気に感化されたという。

「わたしなんかよりもはるかに健脚で。話を聴くと毎日朝晩十キロを歩いているそうで……。凄い方がいらっしやるなと思いました。」

新田さんはそのイベントの後、山陰海岸ジオパークガイド養成講座を受講、認定ガイドとして登録された。

カヤックとの出会い

二〇一九年九月、知人に誘われ、竹野町の切浜で、初めてカヤックを体験した。わずか一時間程度の短い体験だったが、

自らの手で操縦する楽しさ、海から見る岸壁の迫力や風景の美しさに心を奪われていた。

その後、竹野のカヤック体験が忘れられず、円山川公苑、鳥取の浦富海岸など、カヤックに乗れる場所を探しては、出掛けることが楽しみとなったが、意外にも近場でカヤックに乗ることができず、季節も限られていた。

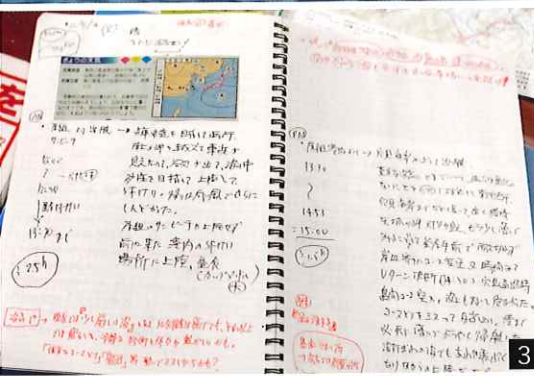
二〇二〇年の十一月、冬になっていたが姫路にあるカヌースクールを見つけ、三日間連続のレッスンを申し込んだ。これまでとは異なり、ここでは朝の九時から十五時までほとんど一日中、思う存分カヤックに乗ることができた。経験豊かな指導者にマンツーマンのレッスンを受けながら、瀬戸内海の無人島を巡り、上陸して昼食をとるなど、本格的な「シーカヤック・ツーリング」を体験した。

そして同じ年の十二月、今度は和歌山のカヌースクールに参加。もはや自分専用のカヤックが欲しくなっていた新田さんは、

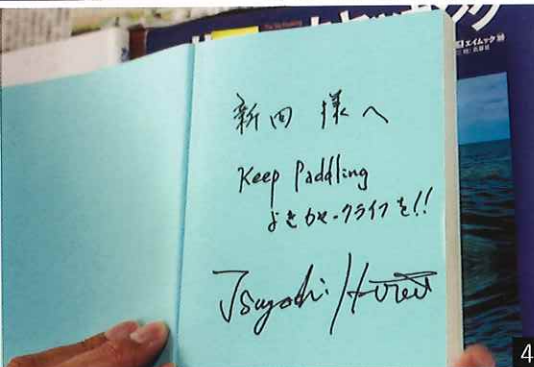




2



3



4

スクールの先生に相談したところ、「初心者にはちょうどいいのがありますよ。」と、施設に置いてあった中古のカヤックを勧められた。四五〇センチの長さは、自分の車の上に積むのによいサイズだった。

二〇二一年三月、手に入れたカヤックを持ち帰り、まだ寒い中を待ちきれずに、但馬の海で練習を始めた。

「カヤックを購入する際、ひとりで海に行くのは危ないから、と家族全員に反対されました。」

心配する家族を安心させるために、スマートフォンにGPSのアプリを入れて共有し、自分の現在地を家族がいつでも確認できるようにした。

そして海のルールを学ぶために、一級船舶免許も取得した。

「怖がりなんです。ひとりで乗り始めて間もない頃、天気が急変して怖ろしい目に合いました。いつでも絶対に無理をしないように心掛けています。」

出艇記録もつけている。航海日誌のようにその日の様子が書かれており、新聞の天気図を切り取って貼り付けているところに、新田さんの几帳面さが伺える。

地元について知ったこと

新田さんは、難問といわれる但馬検定一級認定もされている。もう地元について詳しくなつたでしょう、との問いに、「いやいや奥が深くて。まだまだ知らないことがたくさんあります。幸いにも自分はイベントに参加したり、カヤックに乗ってその一部を知ることができました。これからは、まだ見たことがない『ざんざか踊り』など地元に残されている文化も知っておきたいです。」

地元には貴重なものが残されていて、他府県からそれを楽しみに来る人はたくさんいるのに、住んでいる人が楽しめていない。それがもつたない、という。

(写真右ページ上)

1. 山陰海岸の地図
行った場所と日付が記されている

(写真左ページ上から)

2. 香住のインストラクター交流会
佐津海岸にて
3. 出艇記録
時刻と状況が書き留められている
4. 先生の著書にいただいたサイン
「よきカヤックライフを!!!」

(写真下)

5. 鶴岡橋の下でカヤックに乗る
こんなに素敵な場所が近くにある

(文・写真/松岡 徹)

ある日、円山川を漕いでみようよと、城崎ボートセンターから出艇した。川を遡ってどこまで行けるのか、ということも知りたかった。

「川を遡上しているのに流れもなくて、ほんとうに穏やかで、湖の上を漕いでいるような感覚でした。いつも道路から見ている景色とは違って、人工物が少なくて自然に囲まれていて。素晴らしい風景を見ることが出来ます。」

その時は、およそ三時間で蓼川大橋の手前まで来ることができた。中州に上がって休憩し、軽い食事を楽しんだ。

私たちが住んでいる日高町に流れる円山川では、鶴岡橋の下からカヤックを出すと、下流の蓼川堰(通称:土居の堰)から上流の日置橋を超えて、稲葉川との合流地点まで行くことができる。

「地元の人たちにも、この川を楽しんで欲しいですね。」

一緒に楽しめる仲間が欲しいというのが、今の新田さんの願いである。



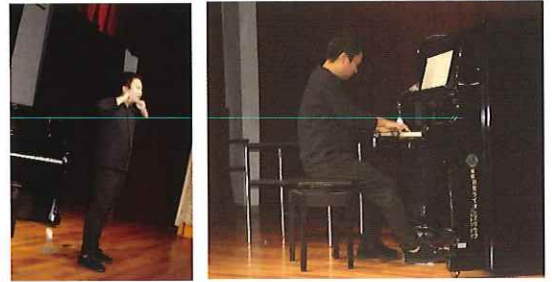
5

事業報告

コミュニティ日高

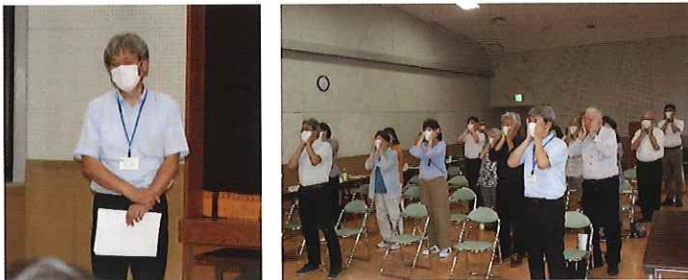
第14回通常総会開催 ～6月23日(木)～

来賓として、豊岡市日高地域振興局 小谷士郎局長を迎え開催しました第14回通常総会は全議案承認されました。まだまだ、コロナ感染の終息は見えませんが、感染防止対策を徹底しながら自主事業を進めてまいります。



豊岡演劇祭コーディネーター 中原信貴氏による 音楽とトークによるパフォーマンス

総会前、みんなで軽い体操を楽しんだ後「ふるさと」など馴染みのある曲目の演奏やトークにて和ませて頂きました ♪



第6回映画鑑賞会 ～8月20日(土)～

『ぼけますから、よろしくお願いします。』(監督:信友直子)を自主事業の第一弾として上映しました。

コロナ禍の状況の下、当日無事開催できるのかと心配していましたが、144名もの方に来場頂きました。

「身につまされる」「母を思い出した」等の感想を聞かせて頂きました。

「次回作も是非上映して欲しい」「楽しみにしている」との声にスタッフ一同うれしく思っています。

豊岡市社会福祉協議会の後援も得て、多くの方々にご協力を頂きありがとうございました。



model 225

ベーゼンドルファーピアノを弾いてみませんか

「ベーゼンドルファーピアノ」をご存じですか？

「世界3大ピアノ・ブランド」のひとつであり、深く、華やかで上質感あるピアノの音色が特徴です。

日高文化体育館では、ベーゼンドルファーピアノの無料開放をしています。

是非、ピアノを弾いて音色に親しんで下さい！

★無料開放日は日高体育館窓口又はホームページより確認して、申込みしてください。

日高文化協会

- ◆ 4月22日(金)2022年度総会を開催し、議事は全て承認されました。
文化祭が3年ぶりに開催されます。



- ◆ 「第24回但馬青少年文化奨励賞」に
日高東中学校吹奏楽部を推薦!!

日高東中学校吹奏楽部は近年、県大会で金賞を連続して受賞し、2021年は関西吹奏楽コンクール・中学校小編成の部でも金賞に輝きました。



日高スポーツ協会

- ◆ 4月26日(火)2022年度総会を開催し、議事は全て承認されました。
併せて2021年度の功労者表彰も行いました。
「日高町体育協会」は「日高スポーツ協会」と名称変更しました。

表彰された皆様



- 野口 逸敏さん(日高町卓球協会)
地域スポーツ振興に貢献
- 山田 駿輝さん(日高西中学校卓球部 2年生)
兵庫県中学校新人卓球大会 第3位
- 山田 実奈さん(八鹿高校卓球部 日高町殿在住)
第90回全国高等学校卓球大会出場
豊岡市立日高西中学校卓球部
兵庫県中学校総合体育大会卓球競技大会 団体優勝
近畿総合体育大会卓球競技 団体戦ベスト8

- ◆ 日高地域市民スポーツ大会結果

- ・ 第37回日高地域市民テニス大会(6月12日(日))
(男女ペアによるミックスマックス 9ペア出場)
優勝 相川・井ニペア
準優勝 古谷・由利ペア
第3位 和田・北見ペア



- ・ 第70回日高地域市民野球記念大会(7月3日、10日、17日、24日、31日、8月7日(各日曜日))
(17チーム出場)
優勝 国分寺
準優勝 栗山・広井・羽尻(合同チーム)
第3位 庄境、静修



優勝：国分寺



準優勝：栗山・広井・羽尻

- ◆ 「日高町体育協会50周年記念誌」の発刊
昭和45年(1970)に20団体によって設立された「日高町体育協会」の設立から50年間の記録を綴った「日高町体育協会50周年記念誌」が発刊されました。
誕生から現在までの歩み・栄光の記録、また「広報ひだか」に掲載されたスポーツ関連記事も掲載されています。
2,000円(消費税込)にて販売中



スポーツクラブ21日高

- ◆ 2022年度各クラブ(7クラブ)と日高の総会が開催されました。

会員の減少・今後の運営について等課題もありますが、今年度がスタートしました。
随時会員を募集しています。一緒に楽しみませんか?



職員紹介



よろしくお願ひします。
田里 千恵美
(たりちえみ)

文化振興事業

◆ ピアノデュオコンサート

11月3日(木・祝) 14:00～

ピアニスト: 吉田ひとみ・飯森美穂子
フルート奏者(賛助出演): 古澤欽逸・岸野光子
会場: 日高文化体育館
入場無料(但し入場整理券必要)



◆ アマービレフィルハーモニー管弦楽団メンバーによる 金管五重奏コンサート

12月3日(土) 14:00～

演奏者



松原 一樹
トランペット



東本 真奈
ホルン



西谷 良彦
トランペット



山口真理子
チューバ



新田 旭
トロンボーン

会場: 日高文化体育館

入場料: 前売券 一般 1,000円 中・高生 500円 / 当日券 一般 1,500円 中・高生 800円

◆ 第12回ひだか市民吹奏楽のつどい

2023年3月19日(日) 14:00～

会場: 日高文化体育館
入場無料

日高文化協会

◆ 第44回文化祭

10月23日(日) 13:00～17:00

会場: 日高文化体育館
入場無料

◆ 第44回協会展

11月5日(土) 10:00～18:00

6日(日) 10:00～16:00

会場: 日高文化体育館
入場無料

◆ 交流研修会

日時未定

江原河畔劇場へ演劇鑑賞

日高スポーツ協会

◆ 日高地域市民スポーツ大会

第30回記念日高地域市民ソフトバレーボール大会

12月4日(日) 日高文化体育館

第50回日高地域オープン市民卓球大会

12月10日(土) 日高文化体育館

第50回神鍋高原市民スキー大会

2023年2月(例年第1日曜日) 神鍋高原スキー場
(万場高原スキー場)

スポーツクラブ21日高

◆ 第8回日高地域ソフトドッジボール大会

11月26日(土) ※中止になりました。

NPO法人コミュニティ日高

管理施設 日高文化体育館

〒669-5305

兵庫県豊岡市日高町祢布 954-6

TEL/FAX 0796-42-2505

<http://www.comhidaka.or.jp/>

—編集後記—

コロナ禍の影響は残っていますが
再開するイベントも出てきました。
ご協力いただいた皆様に感謝します。
(クロスロード編集部)

表紙写真 / 山陰海岸でシーカヤックを操縦する新田章夫さん